

取組事例 安心して暮らせる“住み続けたいまち”をつくる

(遠軽町)

遠軽町では、生活基盤の要である医療と福祉の機能維持及び自然環境を活用した観光産業の発展など、安心・安全で住み続けたいと思える環境づくりに取り組んでいる。

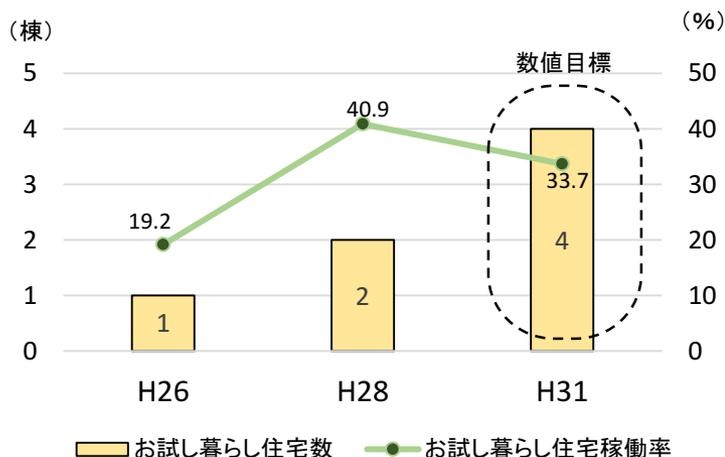
関連数値目標・KPI

	基準値 (H26)	実績 (H28)	目標値 (H31)	進捗率 (%)
合計特殊出生率	1.6	1.55	1.7	91.2
町内の医師数(人)	51	45	50	90.0

取組の推進体制

遠軽町、佐呂間町、湧別町の3町で締結した遠軽地区地域連携協定に基づき連携して推進する取組として、生活機能の強化に係る「医療」と「産業振興」に関する取組を進め、遠軽地区連携地域が、地域の豊富な資源を活かしながら、将来にわたり住民が安心して働き、暮らすことができる地域のまちづくりを進める。

お試し暮らし住宅数と稼働率の推移



取組事例 縁(えん)がある「まち」遠軽町

結婚・出産・子育ての希望をかなえる

○主な取組

<産婦人科医の招聘>

- ・首都圏での地下鉄等における中吊りポスター、医療機関HP等、様々な媒体により広く周知。
- ・全国の大学病院にダイレクトメールを送り、地域病院の視察や体験、地域での暮らしを体験してもらう。

<フォーラム等の開催>

- ・地域医療対策に係るフォーラム等を開催し、地域住民の共通理解を図る。

○主な成果

- ・産婦人科医1名を確保



中吊りポスター

遠軽町に人を呼び込み、呼び戻す

○主な取組

<交流人口の拡大>

- ・町内にある温泉施設と森林を活用し、温泉の効能と森林浴を組み合わせたヘルスツーリズムを確立し、健康の増進と観光産業の発展を図るため、森林ウォーク、温泉入浴、健康診断、地元食材を使った病院食の提供などをセットにしたモデルツアーを実施。

<移住・定住の促進>

- ・お試し暮らし住宅を貸し出し、移住希望者を受け入れることで、交流人口を増加させるとともに、地域おこし協力隊による町外からの人材の積極的な受け入れ。



貸し出し住宅